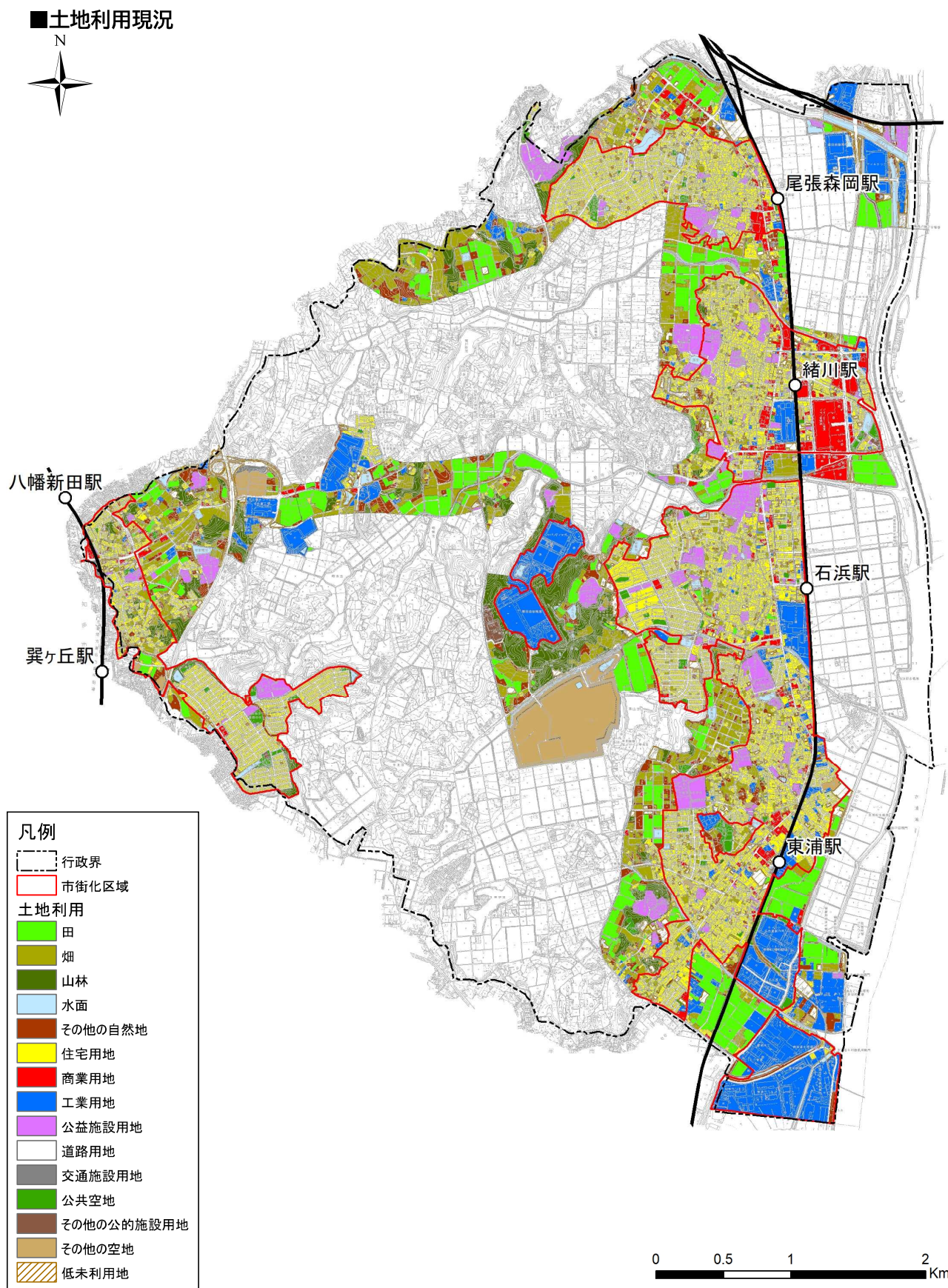




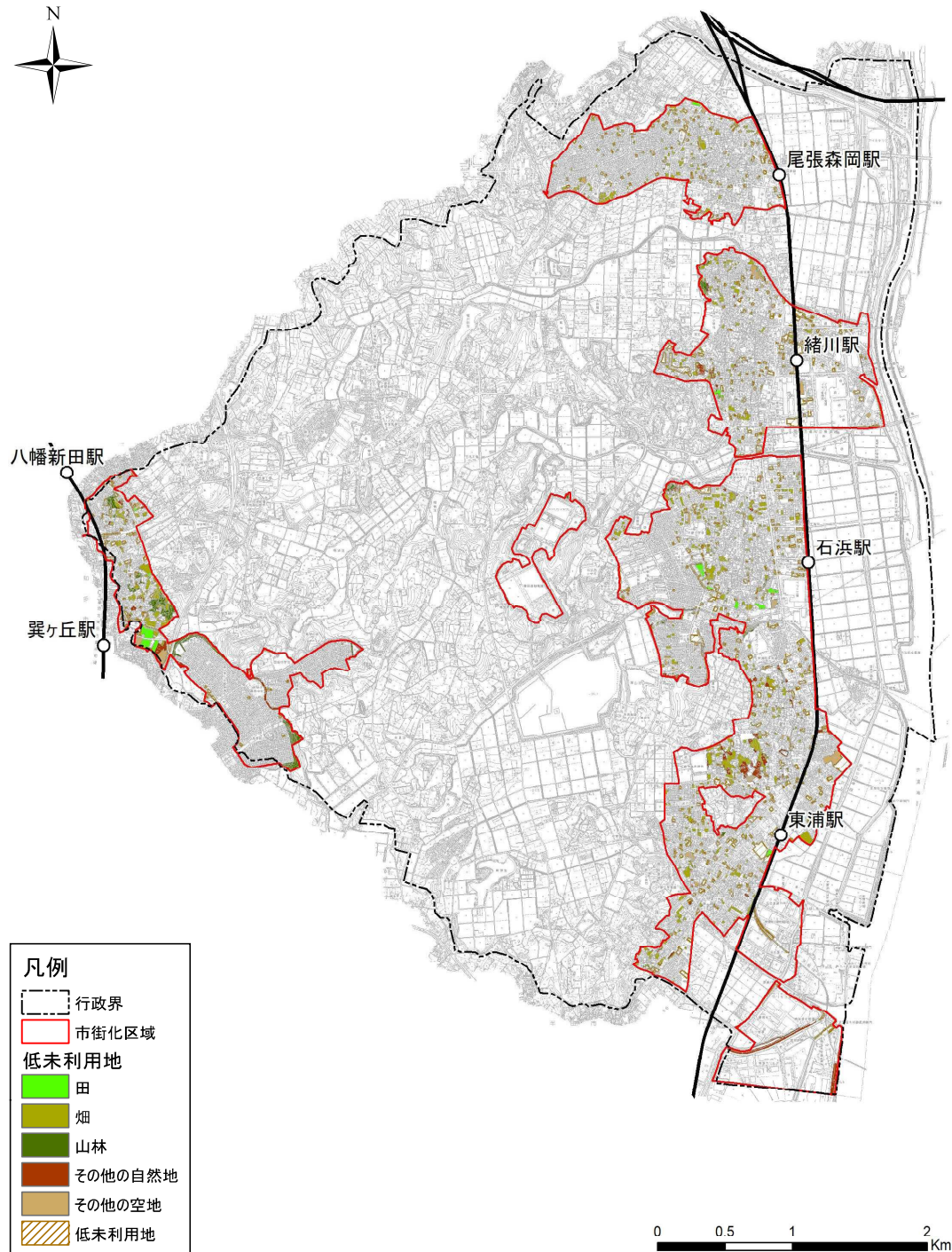
【資料:平成 30(2018)年度都市計画基礎調査】

② 低未利用地現況

- ・市街化区域の広範囲に小規模な低未利用地が点在している。

本町の低未利用地の分布をみると、市街化区域の広範囲に小規模な低未利用地が点在しています。特に東浦駅の北西側には畑を中心とした低未利用地が多くみられます。

■市街化区域内の低未利用地現況



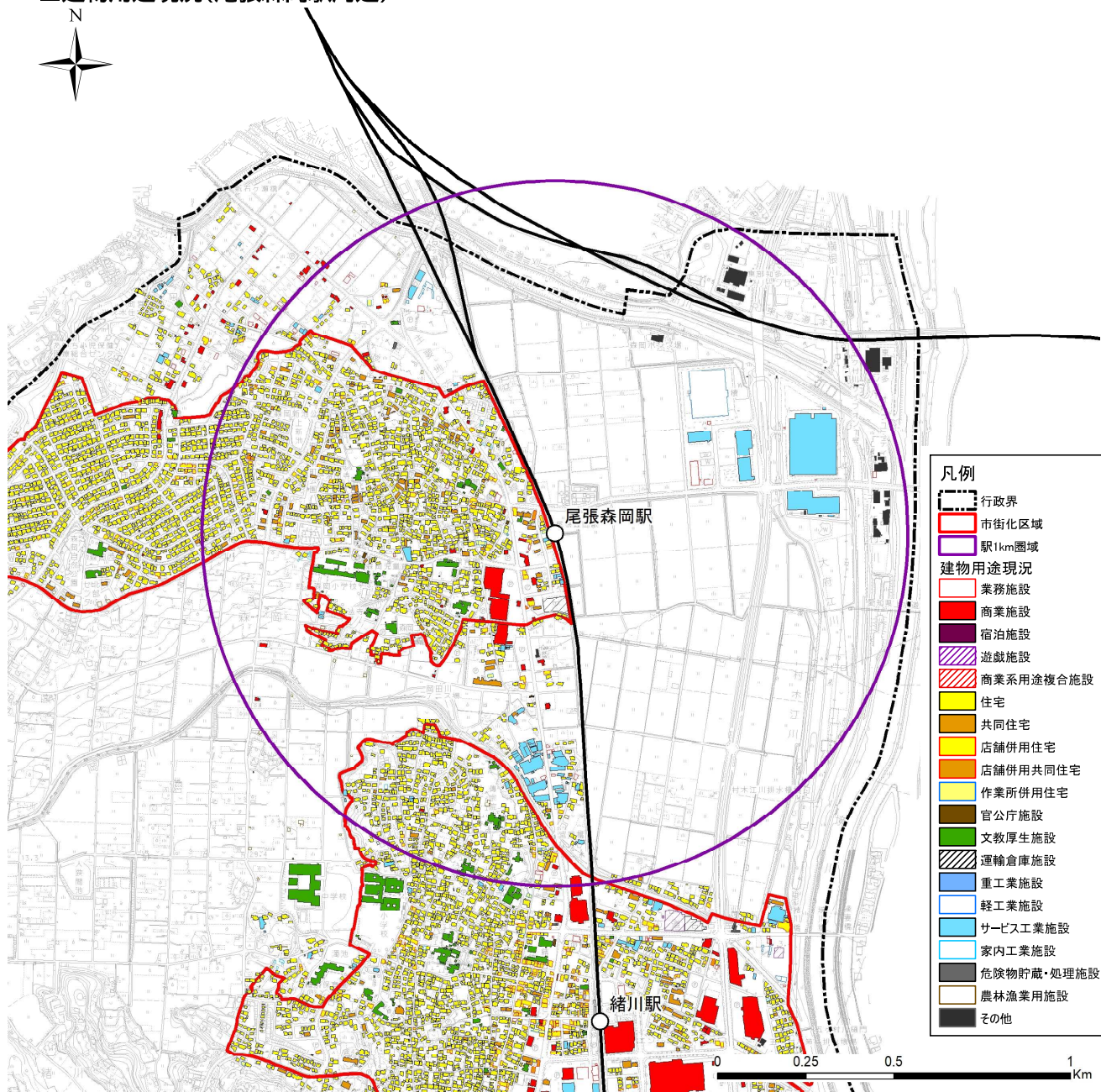
【資料：平成 30(2018)年度都市計画基礎調査】

③ 建物用途現況

- ・各駅周辺は戸建てを中心とした住宅地となっており、商業施設も多く立地している。
- ・緒川駅や石浜駅、東浦駅では、駅に近接して大規模な工業施設が立地している。

尾張森岡駅周辺の建物の分布状況をみると、JR 武豊線の西側に戸建てを中心とした住宅地が形成され、西側の丘陵地には住宅団地が形成されています。また、駅の南西側に比較的大規模の商業施設が立地しているほか、東側の市街化調整区域には大規模な工業施設が立地しています。

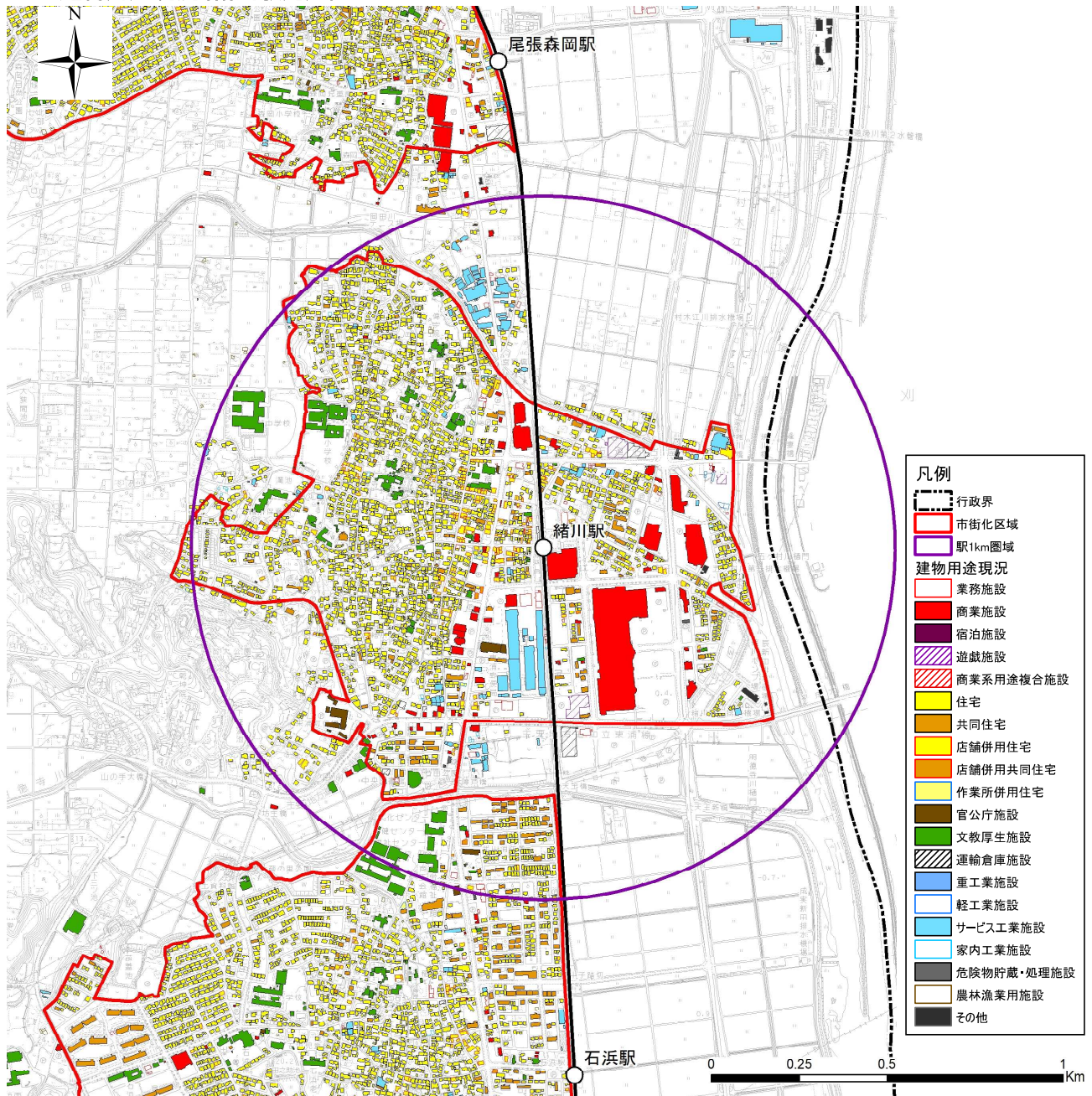
■建物用途現況(尾張森岡駅周辺)



【資料：平成 29(2017)年度都市計画基礎調査】

緒川駅周辺の建物の分布状況をみると、駅の東側に大規模な商業施設が立地しています。駅の西側には戸建てを中心とした住宅地が形成され、店舗併用住宅も多くみられます。また、駅の南西側に大規模な工業施設が立地しています。

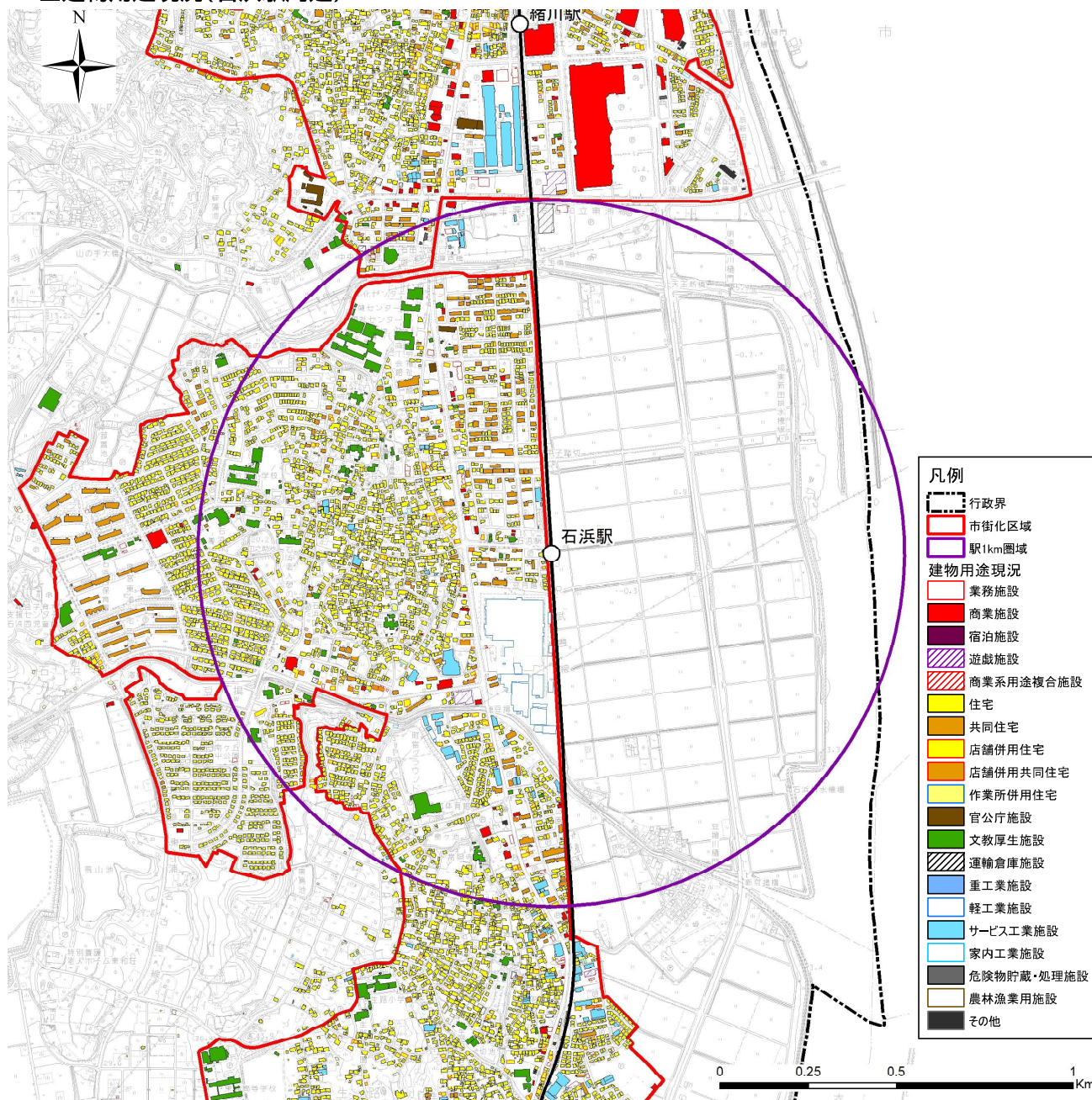
■建物用途現況(緒川駅周辺)



【資料:平成 29(2017)年度都市計画基礎調査】

石浜駅周辺の建物の分布状況をみると、JR 武豊線の西側に戸建て住宅や共同住宅が多く立地し、丘陵地には住宅団地が形成されています。また、駅の南西側には大規模な工業施設が立地しています。一方、駅の東側は市街化調整区域であり、建物は立地していません。

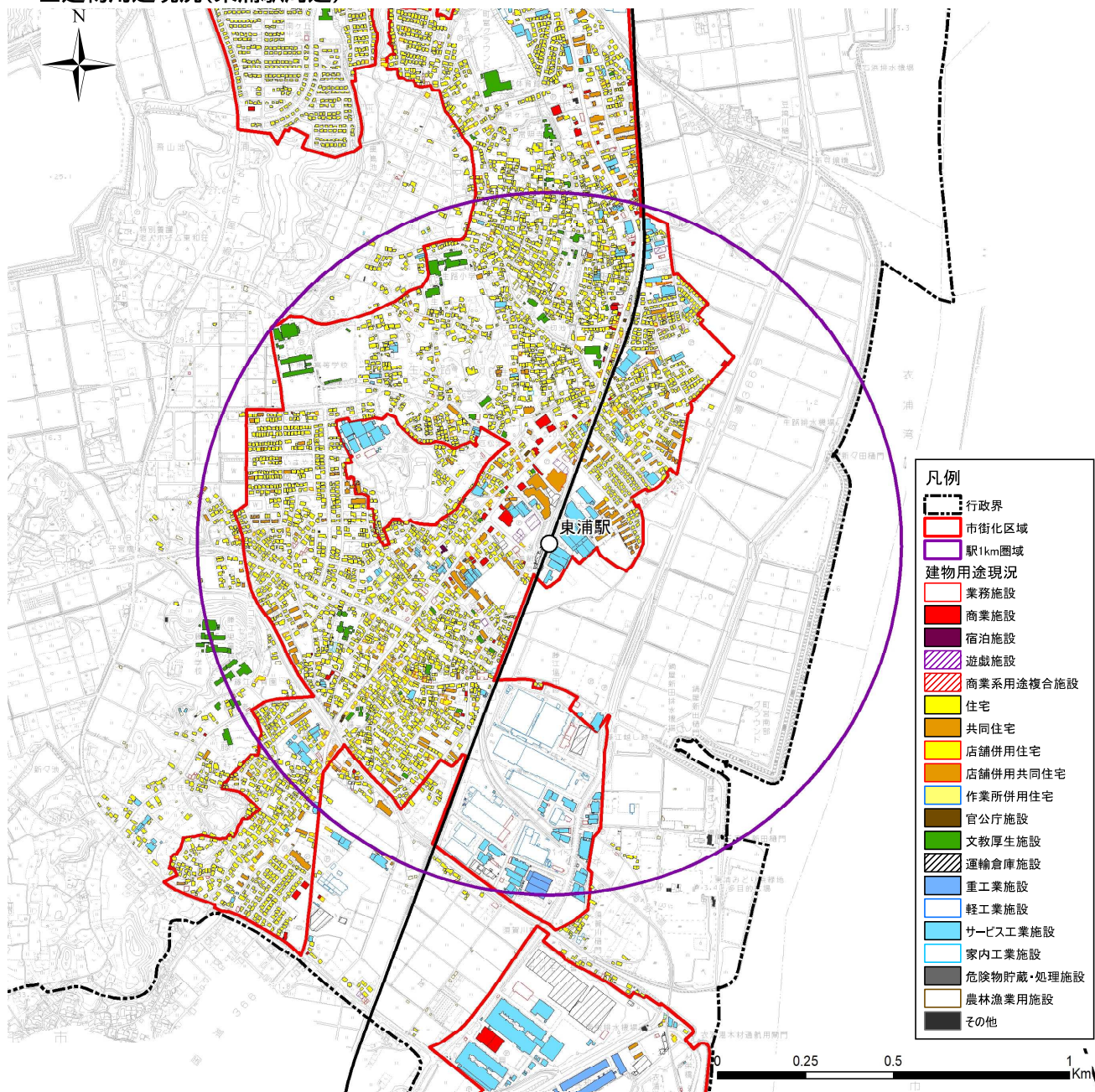
■建物用途現況(石浜駅周辺)



【資料:平成 29(2017)年度都市計画基礎調査】

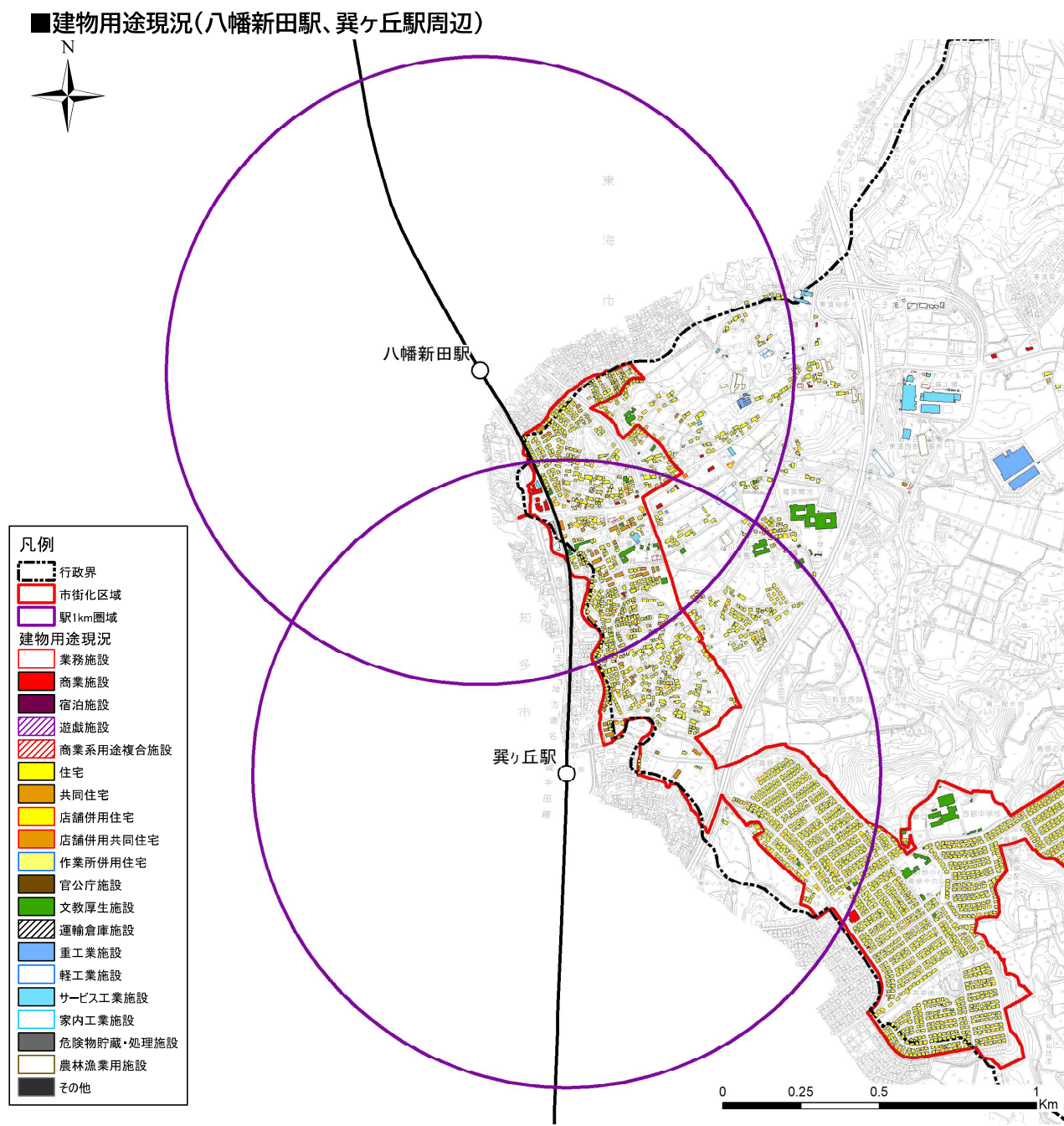
東浦駅周辺の建物の分布状況を見ると、駅の北東側や西側には戸建てを中心とした住宅地が形成され、駅に近接して大規模な共同住宅が立地しています。国道 366 号の沿道には店舗（商業施設）や店舗併用住宅も多く立地しています。また、駅の東側や南側には大規模な工業施設が立地しています。

■建物用途現況(東浦駅周辺)



【資料：平成 29(2017)年度都市計画基礎調査】

八幡新田駅及び巽ヶ丘駅周辺の建物の分布状況をみると、戸建てを中心とした住宅地となっています。



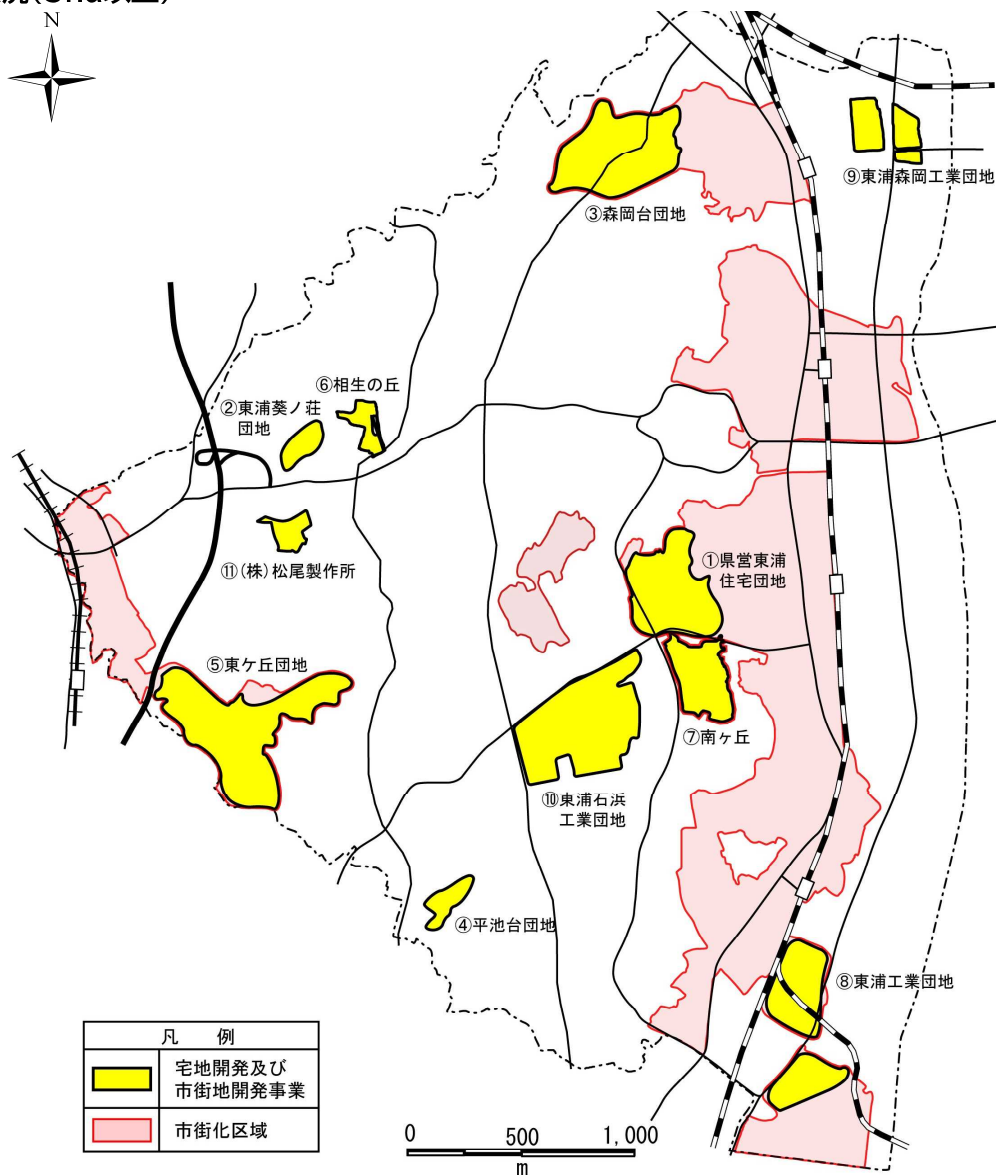
【資料:平成 29(2017)年度都市計画基礎調査】

④ 開発状況

・住宅団地開発や工業団地の造成が各地で行われている。

本町の主な宅地開発事業及び開発許可（5ha 以上）の状況をみると、「東ヶ丘団地」や「森岡台団地」などの大規模な住宅団地開発や大規模な工業地の造成が行われています。

■開発状況(5ha以上)



	事業目的	事業名称	施行地区面積 (ha)	工期
①	集合住宅団地	県営東浦住宅団地	34.0	昭和42～昭和46年度
②	宅地分譲	東浦葵ノ荘団地	6.1	昭和45～昭和46年度
③	宅地分譲	森岡台団地	34.4	昭和44～昭和46年度
④	宅地分譲	平池台団地	5.6	昭和45～昭和48年度
⑤	宅地分譲	東ヶ丘団地	59.8	昭和55～平成2年度
⑥	宅地分譲	相生の丘	5.1	平成18～平成19年度
⑦	宅地分譲	南ヶ丘	17.0	平成19～平成21年度
⑧	工業団地	東浦工業団地	36.5	昭和50～昭和56年度
⑨	工業団地	東浦森岡工業団地	13.6	平成9～平成16年度
⑩	工業用地	東浦石浜工業用地	47.3	平成19～平成24年度
⑪	工業用地	株式会社松尾製作所	5.3	平成19～平成23年度

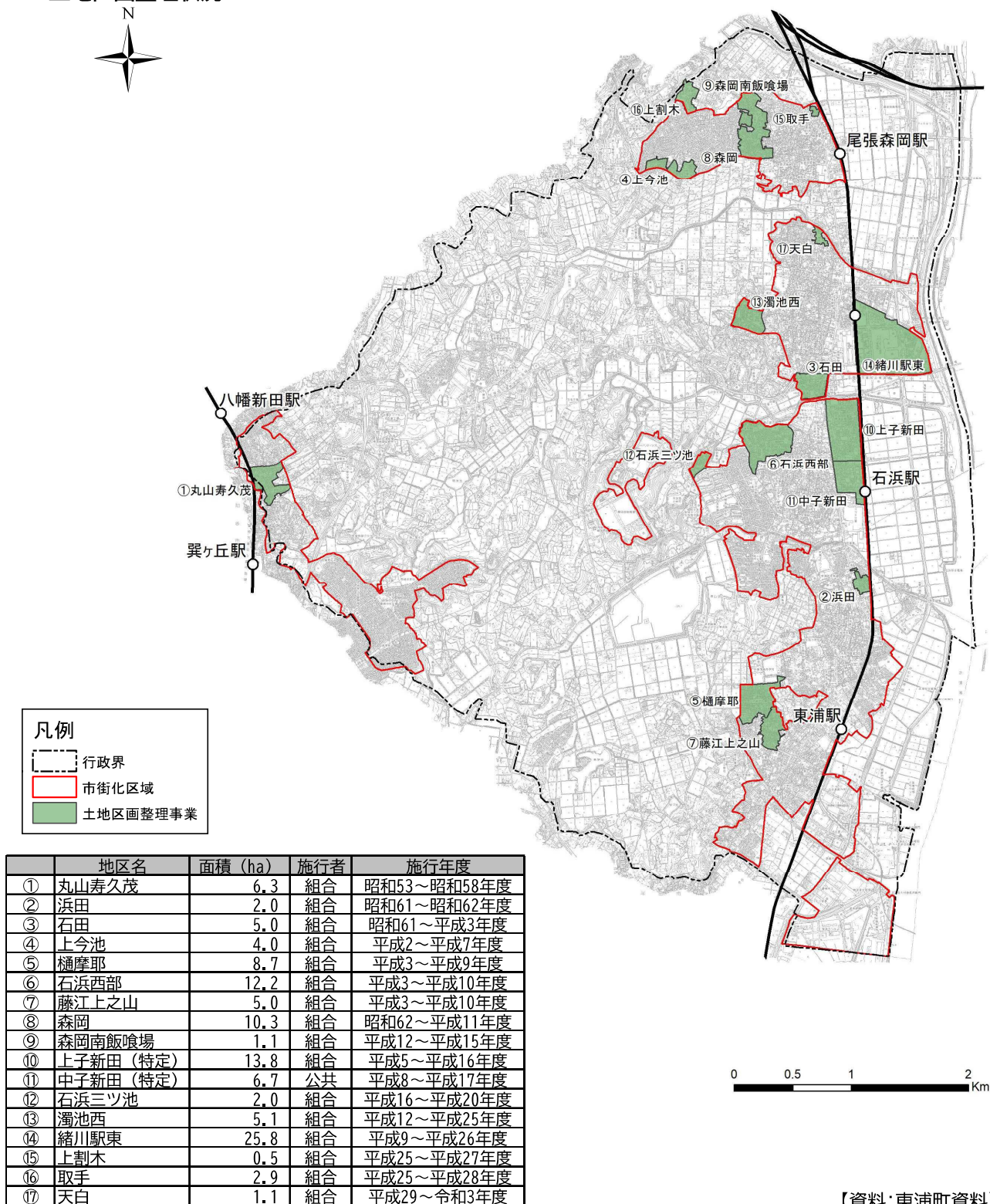
【資料：平成 26(2014)年度都市計画基礎調査】

⑤ 土地区画整理状況

- ・本町の東部を中心に土地区画整理事業による市街地整備が実施されている。

本町の土地区画整理事業は、昭和53（1978）年に緒川新田地区で初めて行われて以来、東部を中心に施行されており、これまでに17地区、112.6haが完了しています。

■土地区画整理状況



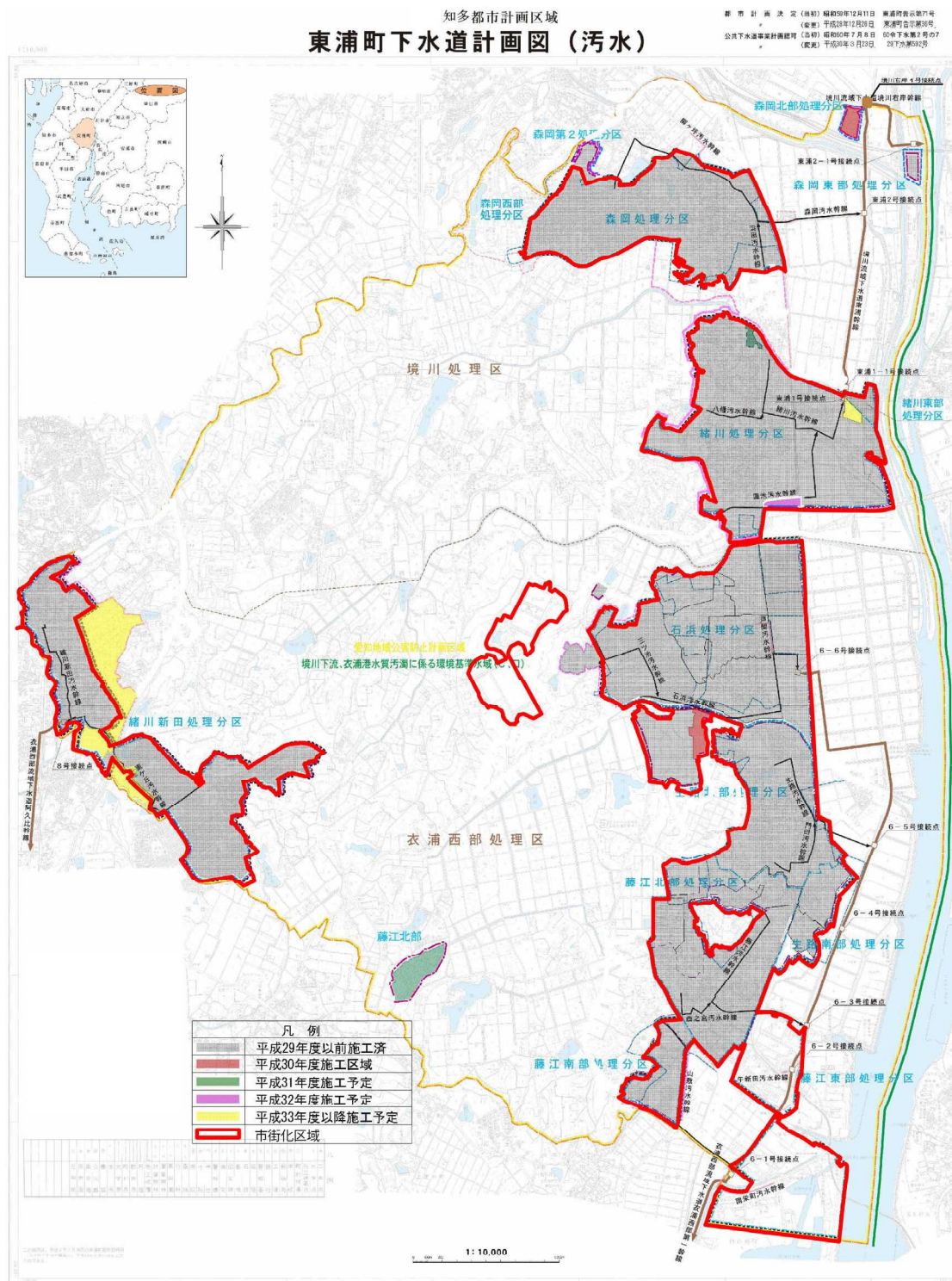
【資料：東浦町資料】

⑥ 下水道整備状況

- ・市街化区域の大部分で下水道整備が完了している。

本町の下水道整備状況をみると、工業地域や工業専用地域を除く市街化区域の大部分で整備が完了しています。

■下水道整備状況



【資料：東浦町資料】

(3) 公共交通

① 鉄道

- ・ JR 武豊線の尾張森岡駅、緒川駅、石浜駅、東浦駅が設置され、令和元（2019）年度までは4駅ともに乗車人員が増加傾向にあった。
- ・ 令和2（2020）年度に乗車人員が大幅に減少し、新型コロナウイルス感染症による影響と考えられる。

本町の鉄道としては、JR 武豊線が本町の東部を南北方向に縦断しており、尾張森岡駅、緒川駅、石浜駅、東浦駅の4駅が設置されています。その他、本町の近隣の駅として、名鉄河和線八幡新田駅と巽ヶ丘駅があります。

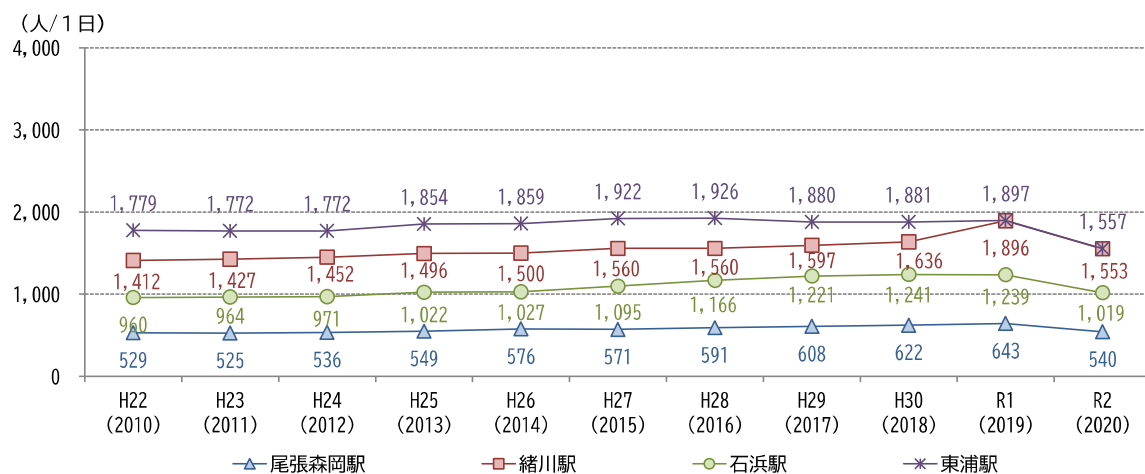
JR 武豊線の4駅について、平成22（2010）年度から令和2（2020）年度の乗車人員の推移をみると、令和元（2019）年度まではすべての駅が増加傾向にあり、令和2（2020）年度には減少に転じ、新型コロナウイルス感染症による影響とみられます。

緒川駅は平成30（2018）年度から令和元（2019）年度にかけて急増しており、令和元（2019）年度以降は東浦駅と同程度の乗車人員となっています。

一名鉄河和線の2駅について、平成22（2010）年度から令和元（2019）年度の乗車人員の推移をみると、令和元（2019）年度まで八幡新田駅は増加傾向にある一方、巽ヶ丘駅は減少傾向にあります。令和2（2020）年度には2駅ともに大幅な減少になり、新型コロナウイルス感染症による影響とみられます。

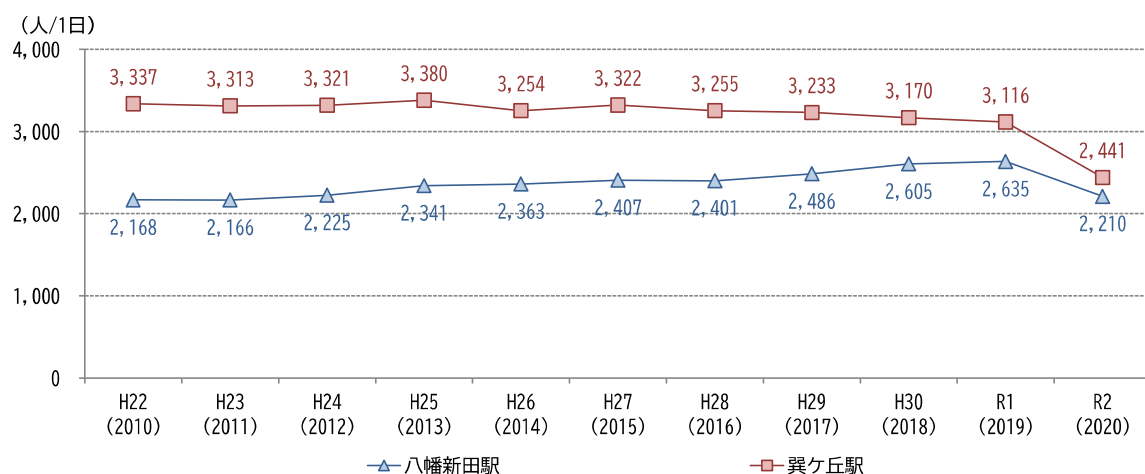
■鉄道駅別1日当たり乗車人員の推移

【JR 武豊線】



【資料：東海旅客鉄道株式会社】

【名鉄河和線】



【資料：名古屋鉄道株式会社】

② バス

- ・コミュニティバスが5路線運行されている。
- ・利用者数は増加傾向にあったが、平成29（2017）年以降は減少に転じている。

本町にはコミュニティバス（東浦町運行バス「う・ら・ら」）が運行されており、環状線、長寿線、刈谷線、東浦高校線、長寿医療研究センター直行便の5路線があります。

また、北部のあいち健康の森周辺には知多バスの大府線と大府循環線や、大府市ふれあいバスが乗り入れているほか、西部には知多バスの東ヶ丘団地線と、阿久比町循環バス「アグビー号」が乗り入れています。

コミュニティバスの利用者数の推移をみると、平成29（2017）年までは増加傾向にありましたが、以降は減少に転じており、一日当たりの利用者数も減少しています。

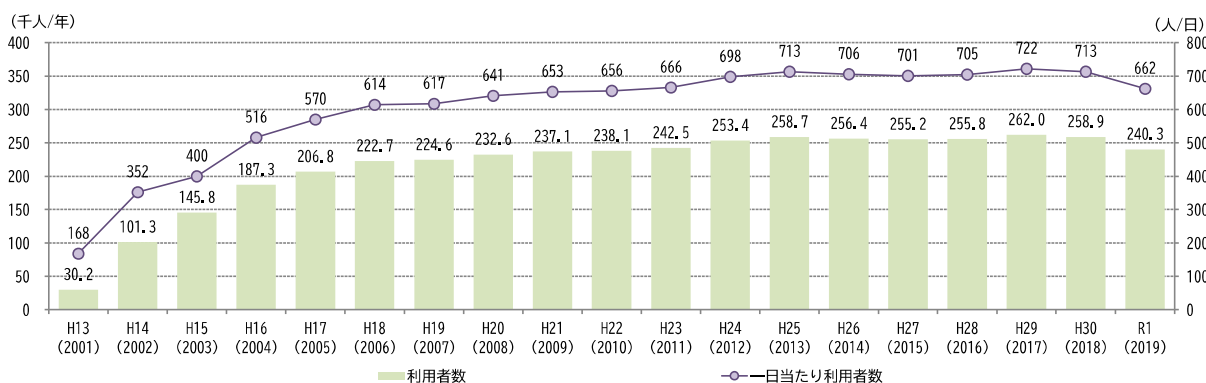
■バスの運行状況

種別	系統・路線名	行き先	運行頻度	
			平日	休日
東浦町運行バス「う・ら・ら」	環状線	左回り（緒川駅東口～上高根台東～東浦駅～緒川駅東口）	12	
		右回り（緒川駅東口～東浦駅～上高根台東～緒川駅東口）	11	
	長寿線	緒川駅東口	9	
		長寿医療研究センター	9	
	刈谷線	緒川駅東口	9	
		刈谷駅南口	9	
	東浦高校線	於大公園南経由	5	
知多バス	大府線	文化センター経由	5	
		長寿医療研究センター	1	0
	大府循環線	大府駅前～長寿医療研究センター～げんきの郷～大府駅前	10	
		大府駅前～あいち健康プラザ～森岡台～大府駅前	10	
大府市ふれあいバス	東ヶ丘団地線	大府駅前～森岡台～あいち健康プラザ～大府駅前	4	
		巽ヶ丘駅前～東ヶ丘～高根台～巽ヶ丘駅前	27	25
	西コース	左回り（共和駅西～長草天神社～げんきの郷～共和駅西）	4	
		右回り（共和駅西～げんきの郷～長草天神社～共和駅西）	3	
阿久比町循環バス「アグビー号」	南コース	左回り（大府駅西～知北平和公園～げんきの郷～大府駅西）	4	
		右回り（大府駅西～げんきの郷～知北平和公園～大府駅西）	4	
ブルーライン	阿久比駅前～坂部駅前～阿久比駅前		7	

※東浦高校線は、登校日のみの運行も含む

【資料：知多バス HP、東浦町 HP、大府市 HP、阿久比町 HP】

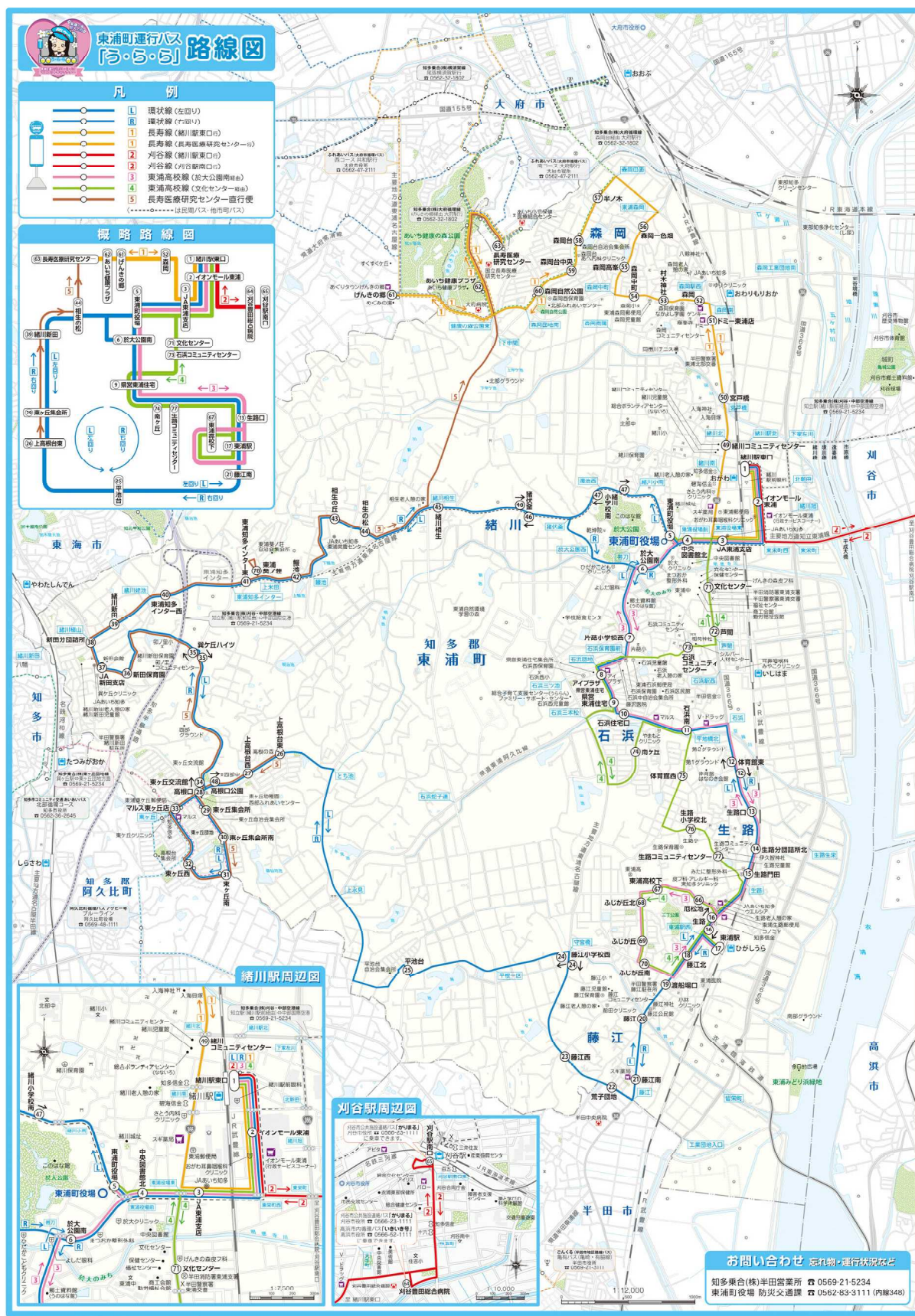
■東浦町運行バス「う・ら・ら」利用者数の推移



※H13 は H13. 10～H14. 3 月の利用者数

【資料：ひがしうらのすがた】

■バス路線図



【資料:東浦町 HP】

③ 公共交通の人口カバー率

・公共交通の人口カバー率は約95%と概ね町全域をカバーしている。

本町の基幹的公共交通（鉄道）の徒歩圏カバー人口（令和2（2020）年）は25,993人で、カバー率は52.1%、徒歩圏人口密度は30.2人/haとなっています。また、鉄道及びバス路線の徒歩圏カバー人口は47,491人で、カバー率は95.1%、徒歩圏人口密度は28.9人/haとなっており、一部公共交通の徒歩圏から外れている地区がありますが、概ね町全域をカバーしています。

令和22（2040）年の鉄道の徒歩圏カバー人口は24,982人で、カバー率は52.5%、徒歩圏人口密度は29.0人/haとなっています。また、鉄道及びバス路線の徒歩圏カバー人口は45,243人で、カバー率は95.0%、徒歩圏人口密度は27.6人/haとなっています。

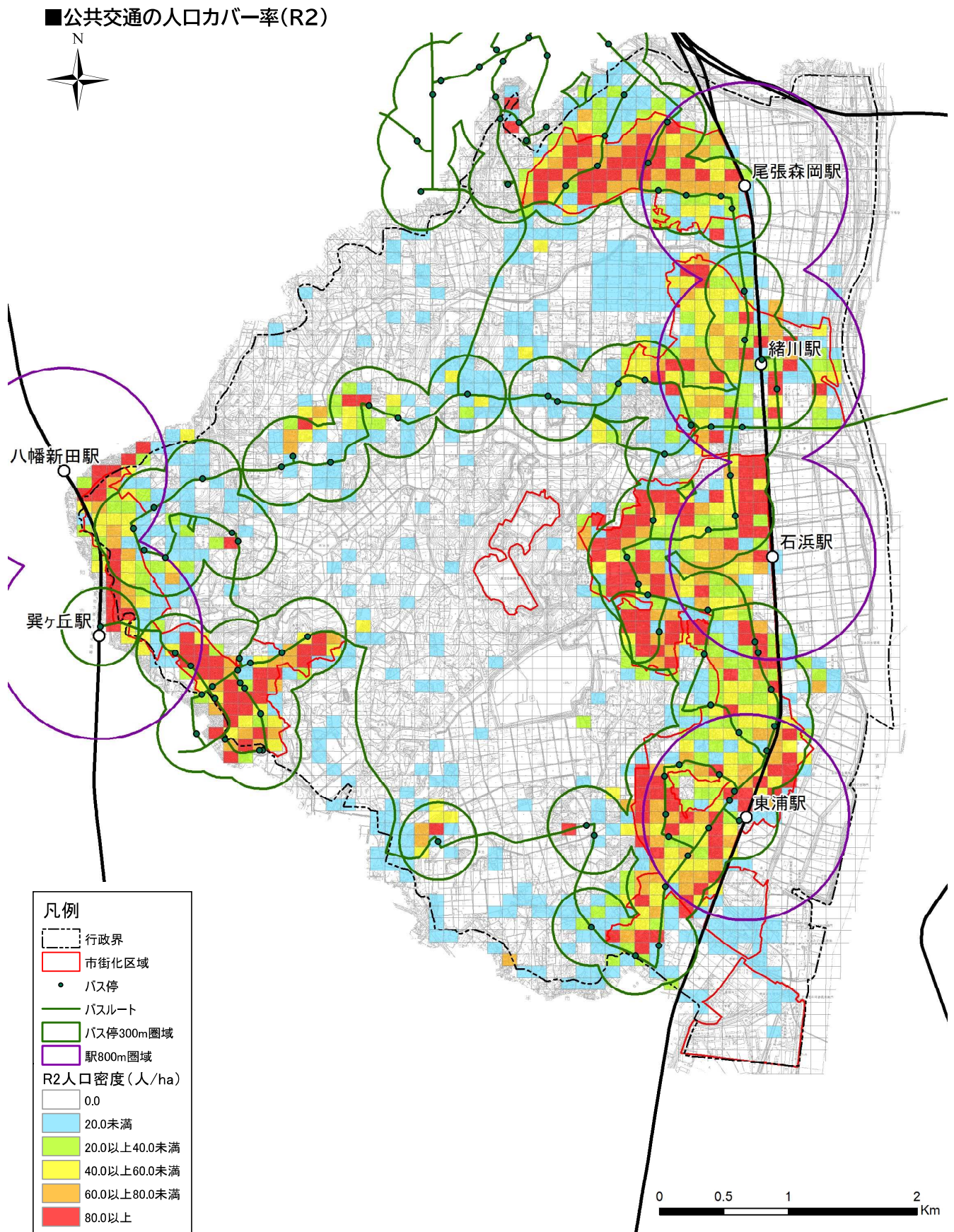
■公共交通の徒歩圏人口カバー率及び徒歩圏人口密度

区分	年	人口	カバー人口	徒歩圏人口 カバー率	徒歩圏 人口密度
基幹的公共交通 （鉄道）	R2（2020）年	49,926人	25,993人	52.1%	30.2人/ha
	R22（2040）年	47,623人	24,982人	52.5%	29.0人/ha
公共交通 （鉄道・バス）	R2（2020）年	49,926人	47,491人	95.1%	28.9人/ha
	R22（2040）年	47,623人	45,243人	95.0%	27.6人/ha

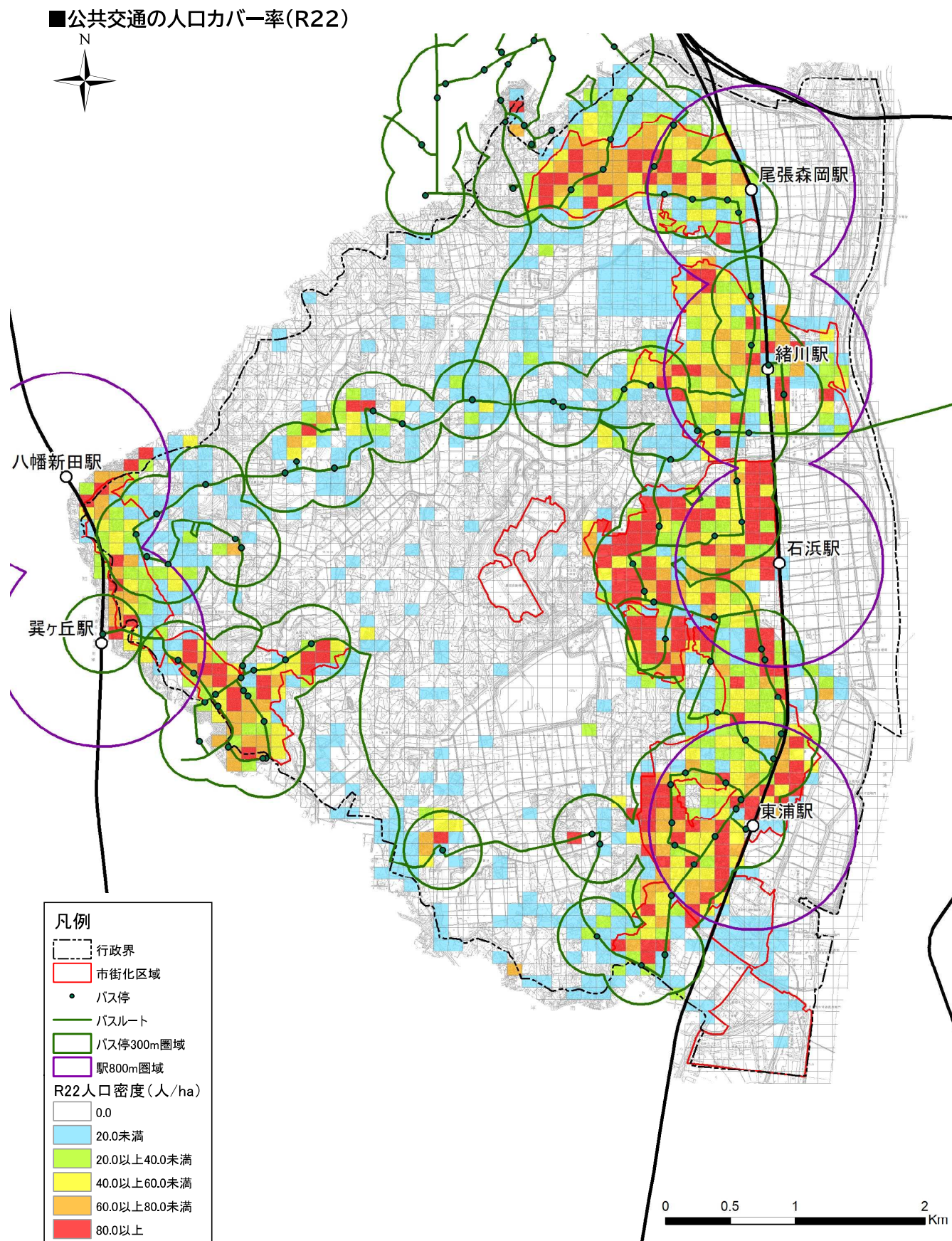
※鉄道駅、バス停からの徒歩圏域は、国土交通省の「都市構造の評価に関するハンドブック（平成26（2014）年8月）」を参照し、鉄道駅は800m、バス停は300mを採用。

※人口は令和2（2020）年時点及び令和22（2040）年時点の100mメッシュ推計人口より集計。なお、メッシュが東浦町の行政区域内外にまたがる場合は、面積按分により算出。

※徒歩圏カバー人口は、鉄道駅及びバス停の徒歩圏における令和2（2020）年時点及び令和22（2040）年時点の100mメッシュ推計人口より集計。なお、メッシュが徒歩圏内外にまたがる場合は、面積按分により算出。



【資料:公共交通は東浦町資料に基づき作成、人口密度は人口統計メッシュデータ(令和元(2019)年度版)】



【資料:公共交通は東浦町資料に基づき作成、人口密度は人口統計メッシュデータ(令和元(2019)年度版)に基づき独自推計】

(4) 都市機能

① 生活利便施設

- ・医療施設・高齢者福祉施設の人口カバー率は高い状況にある。
- ・商業施設（延床 1,500 m²以上）については、徒歩圏から外れている地域が多くみられる。

<医療施設>

本町の医療施設（内科・外科）の徒歩圏カバー人口（令和 2（2020）年）は 45,991 人で、カバー率は 92.1%、徒歩圏人口密度は 27.5 人/ha となっており、市街化区域のほぼ全域をカバーしています。

また、令和 22（2040）年の徒歩圏カバー人口は 43,915 人で、カバー率は 92.2%、徒歩圏人口密度は 26.3 人/ha となっています。

<福祉施設>

本町の高齢者福祉施設（通所系・訪問系・小規模多機能施設）の徒歩圏カバー人口（令和 2（2020）年）は 45,352 人で、カバー率は 90.8%、徒歩圏人口密度は 22.5 人/ha となっています。

概ね市街化区域をカバーしているものの、北部の市街化区域などに徒歩圏から外れている地域があります。

また、令和 22（2040）年の徒歩圏カバー人口は 43,351 人で、カバー率は 91.0%、徒歩圏人口密度は 21.5 人/ha となっています。

<商業施設>

本町の商業施設（延床面積 1,500 m²以上のスーパー等）の徒歩圏カバー人口（令和 2（2020）年）は 26,662 人で、カバー率は 53.4%、徒歩圏人口密度は 32.4 人/ha となっています。

石浜駅周辺や尾張森岡駅の西部、東浦駅の南部、西部の市街化区域など、徒歩圏から外れている地域が多くみられます。

また、令和 22（2040）年の徒歩圏カバー人口は 25,806 人で、カバー率は 54.2%、徒歩圏人口密度は 31.4 人/ha となっています。

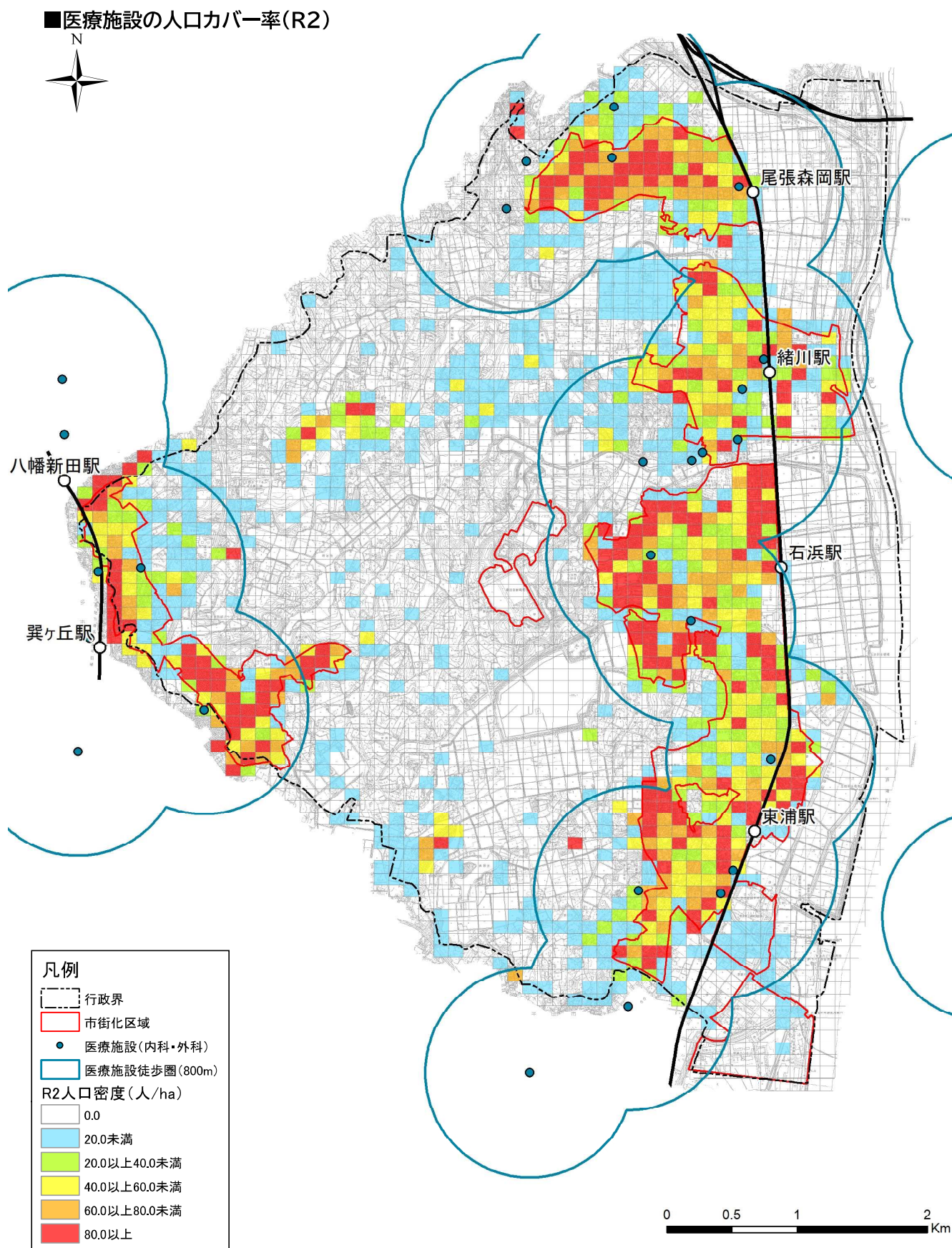
■生活利便施設の徒歩圏人口カバー率及び徒歩圏人口密度

区分	年	人口	カバー人口	徒歩圏人口 カバー率	徒歩圏 人口密度
医療施設	R2（2020）年	49,926 人	45,991 人	92.1%	27.5 人/ha
	R22（2040）年	47,623 人	43,915 人	92.2%	26.3 人/ha
福祉施設	R2（2020）年	49,926 人	45,352 人	90.8%	22.5 人/ha
	R22（2040）年	47,623 人	43,351 人	91.0%	21.5 人/ha
商業施設	R2（2020）年	49,926 人	26,662 人	53.4%	32.4 人/ha
	R22（2040）年	47,623 人	25,806 人	54.2%	31.4 人/ha

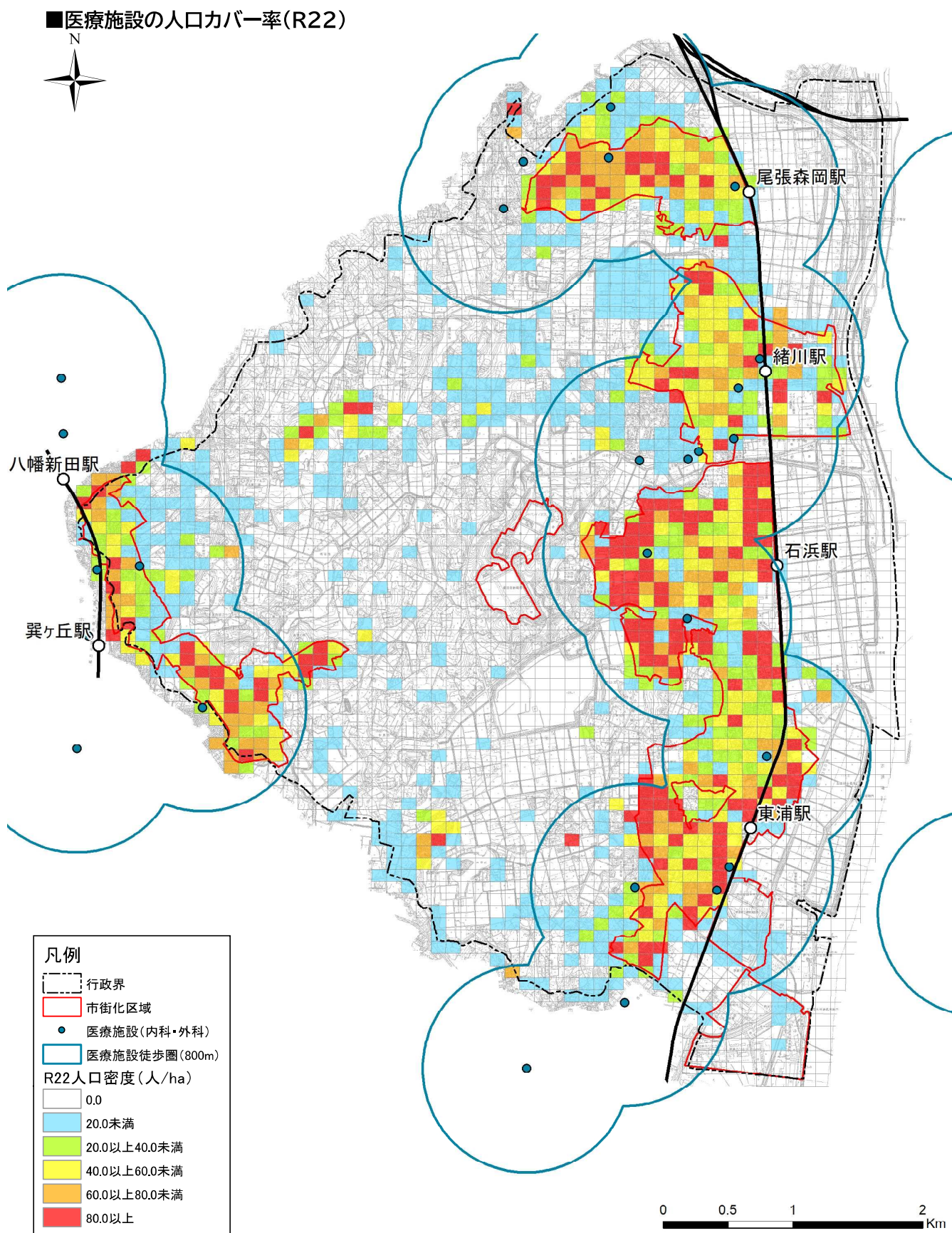
※生活利便施設の徒歩圏域は、国土交通省の「都市構造の評価に関するハンドブック（平成 26（2014）年 8 月）」を参照し、800m を採用。

※人口は令和 2（2020）年時点及び令和 22（2040）年時点の 100m メッシュ推計人口より集計。なお、メッシュが東浦町の行政区内外にまたがる場合は、面積按分により算出。

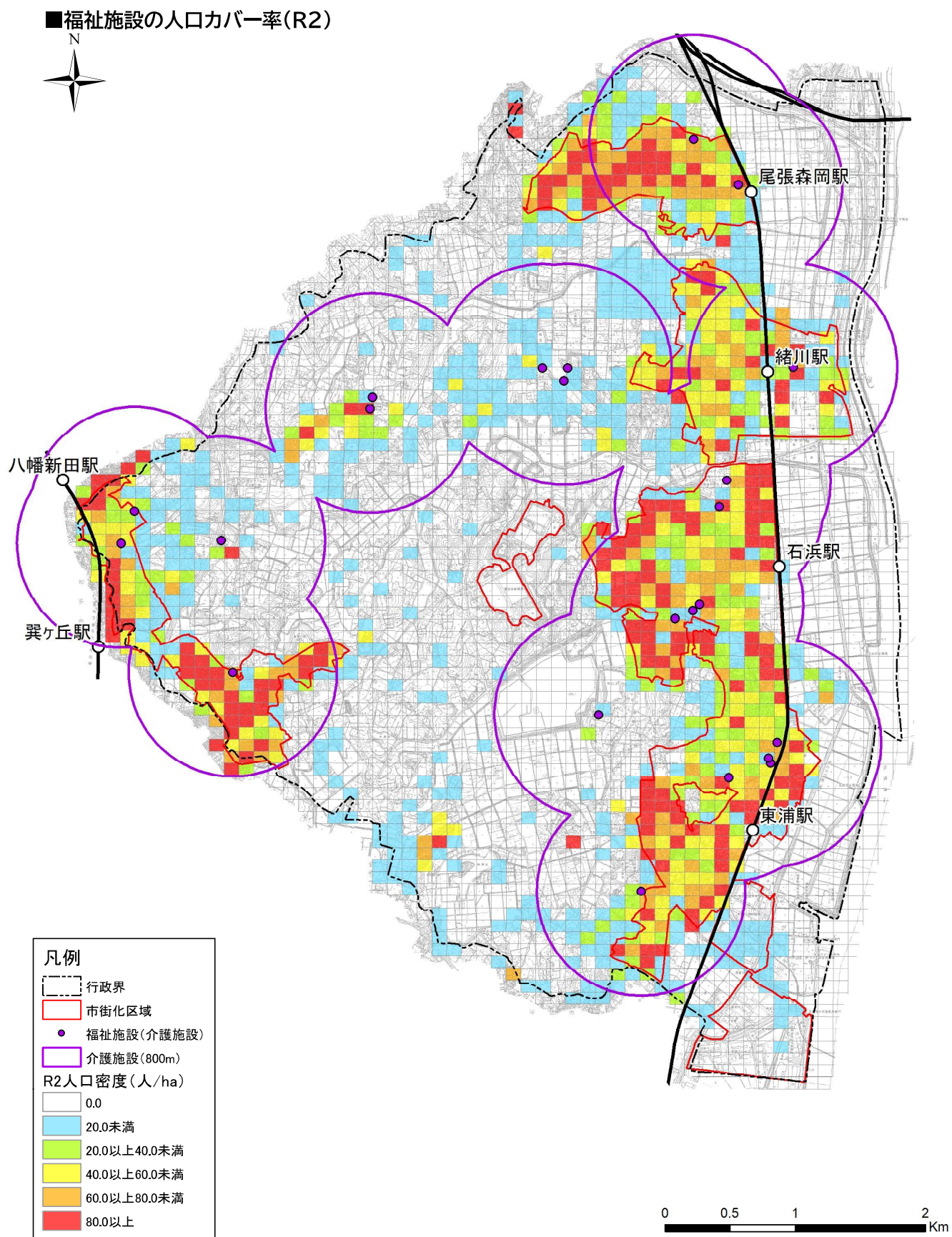
※徒歩圏カバー人口は、鉄道駅及びバス停の徒歩圏における令和 2（2020）年時点及び令和 22（2040）年時点の 100m メッシュ推計人口より集計。なお、メッシュが徒歩圏内外にまたがる場合は、面積按分により算出。



【資料：医療施設は東浦町暮らしの便利帳 2017、人口密度は人口統計メッシュデータ(令和元(2019)年度版)】



【資料:医療施設は東浦町暮らしの便利帳 2017、人口密度は人口統計メッシュデータ(令和元(2019)年度版)に基づき独自推計】



【資料：福祉施設は厚生労働省介護サービス情報公開システム、人口密度は人口統計メッシュデータ(令和元(2019)年度版)】